

令和4年度 社会福祉充実残額の算定

【結論】

当年度の社会福祉充実残額はマイナス→社会福祉充実計画の作成は不要

【簡便計算式】

項目		令和3年度	令和4年度
資産	現金預金(全事業)	121,169,557	69,054,309
	事業未収金(全事業)	129,046,755	127,076,682
	未収金(全事業)	87,765	107,520
	立替金(全事業)	3,313,139	2,548,873
	前払費用(全事業)	0	0
	仮払金(公益収益)	0	0
	土地(公益収益)	0	0
	建物(公益収益)	0	0
	器具備品(公益収益)	56,251	2
	長期前払費用(公益収益)	0	0
	その他の固定資産	23,930,545	30,627,156
債務	流動負債(設備借入、リース債務除く)(全事業)	▲ 100,067,169	▲ 84,182,249
	その他の固定負債(公益収益)	0	0
	法人内退職金等(全事業)	▲ 58,087,942	▲ 61,662,588
	1年内返済設備借入金(公益収益)	0	0
	長期未払金(全事業)	▲ 965,217	▲ 1,267,035
	設備借入金(公益収益)		
3号基本金		0	0
小計		118,483,684	82,302,670
控除	②再取得に必要な財産		
	③必要な運転資金		
	特例計算	▲ 785,546,342	▲ 874,258,873
	小計	▲ 785,546,342	▲ 874,258,873
差引計	社会福祉充実残額	▲ 667,062,658	▲ 791,956,203
		▲ 667,060,000	▲ 791,950,000

0

【法令による計算式】

特例計算	社会福祉充実残高	=	A活用可能な財産	-	B控除対象財産①	-	特例計算		
	▲ 791,956,203		575,901,952		493,599,282		874,258,873		
A	【活用可能な財産】	=	資産	-	負債	-	基本金	-	国庫補助等特別積立金
	575,901,952		1,219,407,626		563,683,497		31,898,044		47,924,133

※負債、基本金及び国庫補助等特別積立金との重複部分は調整

B 【控除対象財産①(社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等)】 = 財産目録により特定した事業対象不動産等に係る貸借対照表価額の合計額

内訳		
未収補助金(社福事業)		4,204,000
貯蔵品(社福)		3,437,790
商品製品		3,349,324
原材料		1,369,678
前払金(社福)		0
仮払金(社福)		0
基本財産土地		1,204,745
基本財産建物		173,889,708
土地(社福)		243,675,745
建物(社福)		386,944,967
構築物(社福)		29,821,465
車両運搬具(社福)		6,398,317
器具及び備品(社福)		17,403,786
建設仮勘定(社福)		100,780,000
有形リース資産(社福)		4,930,200
ソフトウェア(社福)		1,473,334
差入保証金(社福)		1,003,300
基本金(1号2号)	重複の調整	▲ 31,898,044
国庫補助等特別積立金	"	▲ 47,924,133
1年内返済設備借入金(社福)	"	▲ 18,888,000
設備借入金(社福)	"	▲ 382,738,000
1年内返済リース債務(社福)	"	▲ 1,004,300
リース債務(社福)	"	▲ 3,834,600

【特例計算】

年間事業活動支出(資金収支計算書)	874,258,873
-------------------	-------------